



National Institute of Information and Communications Technology

PAマルチホーム普及に向けて

藤川 賢治 (hudikaha@nict.go.jp)

NICT

- 名前: 藤川賢治
- 所属: 情報通信研究機構 光ネットワーク研究所 ネットワークアーキテクチャ研究室
- 趣味: 正字正假名、手品、ジャグリング、将棋、圍碁、鍬形(クワガタ)飼育、泰語、筋トレ、Speed Cubing (ルービックキューブ)

- 研究の目的
 - 世の中全部IPに!
 - インターネットアーキテクチャをもっと美しく!

本日のBeerTalkの目的



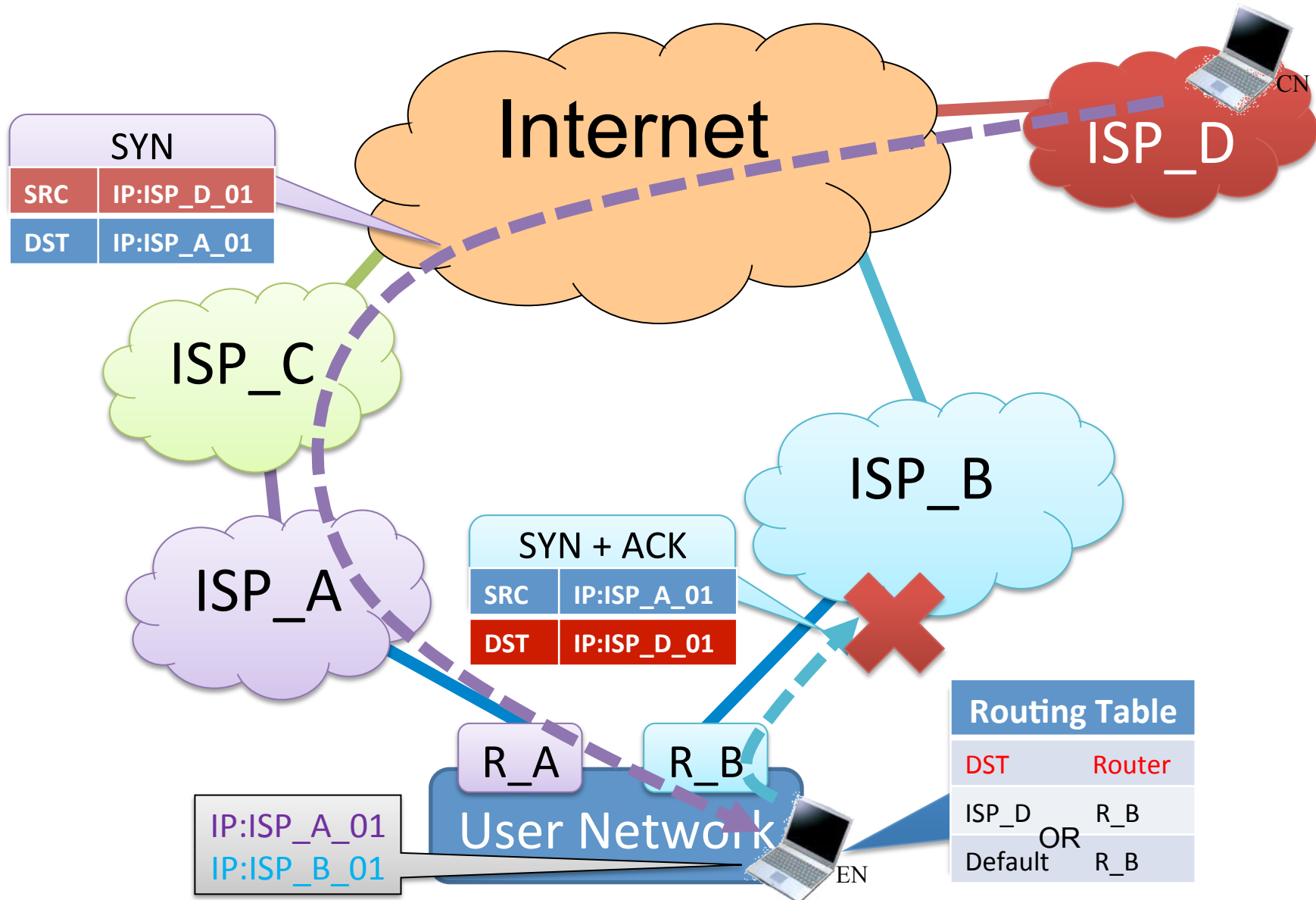
- Provider Aggregatable (PA) addr-based multihoming をやりたい人を探す
- やりたい人を増やす

- 皆さんはどれに該当しますか?
 - PA知らない、or 関心が無い
 - PA multihoming は要らないんじゃない?
 - PA multihoming やってみたいけど.....

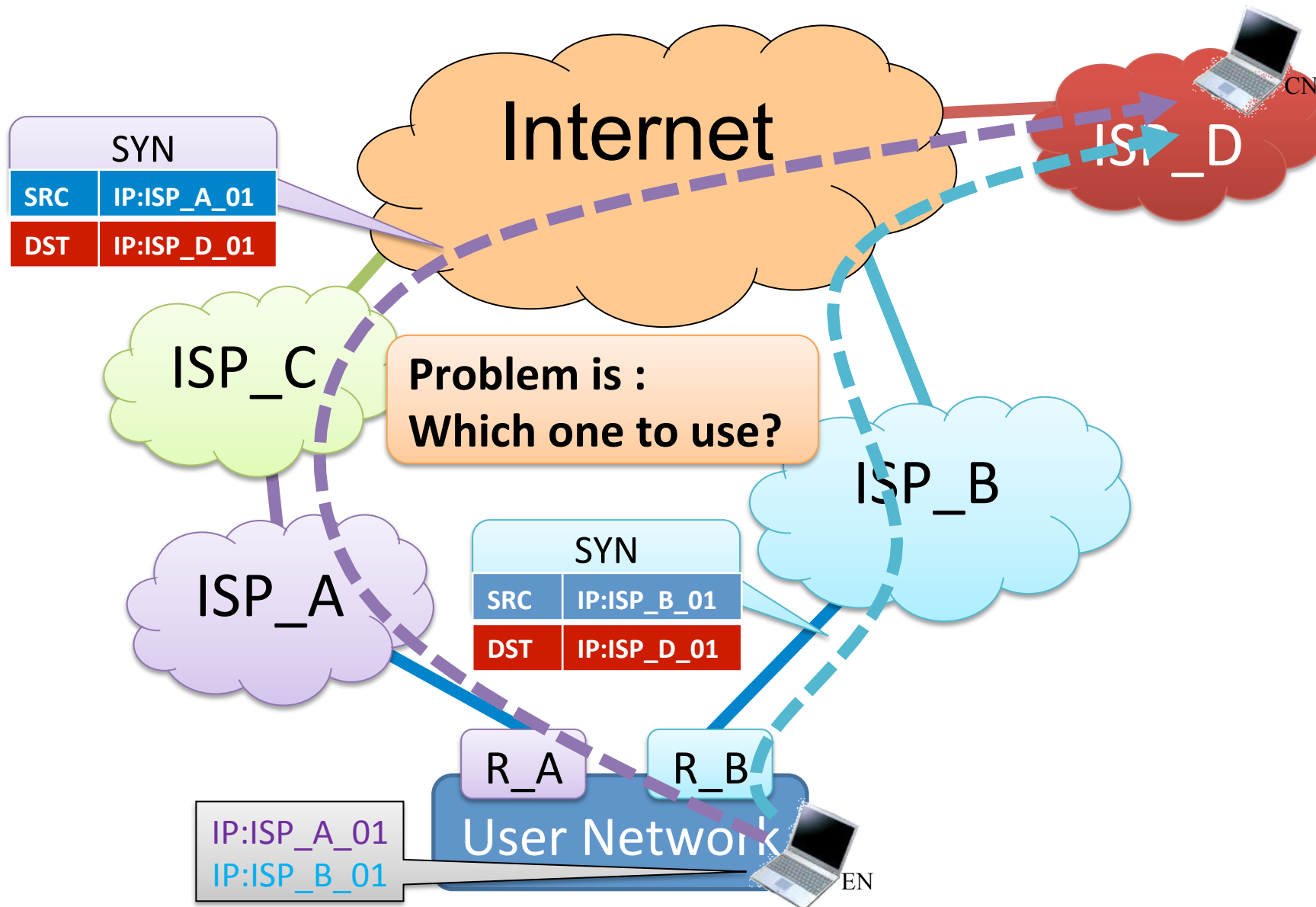
PAは何故普及しないのか？

1. ISP移動時のリナンバリングへの対処
2. 複数のアドレスの機器への設定方法
3. DNSとの対応付け
4. アプリケーションの複数アドレス利用方法
(1) コネクション成立前と(2)コネクション成立後
5. ソースアドレス選択、ソースアドレスフィルタリングの問題
6. その他アドレスが固定されていることを前提としたインターネットサービスへの対処

Ingress Filtering Problem



Route Selection



PA普及の障害はここまで解決



1. ISP移動時のリナンバリングへの対処
2. 複数のアドレスの機器への設定方法
3. DNSとの対応付け
4. アプリケーションの複数アドレス利用方法
(1) コネクション成立前と(2)コネクション成立後
5. ソースアドレス選択、ソースアドレスフィルタリングの問題
6. その他アドレスが固定前提サービスへの対処

- 1～3はHANAで解決、4(1)はDNS/socket APIの作法で解決
 - これだけでも実用になる！
 - HANAの標準化するならDHCPv6-PDの拡張か？
- 4(2)～5は将来的にはID/Locator分離アーキテクチャで解決

- 皆さんはどれに該当しますか?
 - PA知らない、or 関心が無い
 - PA multihoming は要らないんじゃない?
 - PA multihoming やってみたいけど.....